

会派視察報告書

大崎市議会 政務活動報告書

1. 視察概要

会派名	セントラル大崎
視察者名	高橋憲夫 佐藤講英 八木吉夫
日時	平成 24 年 10 月 29 日～31 日(3 日間)
視察先	(1)佐賀県唐津市 (2)佐賀県伊万里市 (3)佐賀県武雄市 (4)佐賀県佐賀市

2. 視察内容

視察項目	(1)再生可能エネルギーに関する取り組みについて ゆるキャラ「唐ワンくん」事業について (2)食のまちづくりについて (3)図書館の蔦屋(CCC)への指定管理委託について (4)スーパー認定農業者について
視察内容	<p>(1)再生可能エネルギーへの取り組みは、隣町に玄海原発があることから、3.11 大震災後に新エネルギーへの機運が高まったようだ。</p> <p>市議会にも特別委員会が設置され、ビジョンだけではなく、具体的な取り組みを推進する意味で、平成 24 年 6 月議会で条例を制定した。</p> <p>唐津市は歴史的にも石炭産業が盛んで、火力発電所や揚水式発電所も存在し、そのことで国のエネルギー政策の見直しにも敏感に対応したのではないかと考える。</p> <p>すでに基本計画策定予算も確保し、早速アクションプランを作る等、スピード感を持って取り組んでいる。</p> <p>ゆるキャラ事業は、現在、全国的にも話題になっているが、「唐ワンくん」はすでに平成 16 年に登場している。これは、市長肝いりで「まちなか元気再生委員会」が出来た後、空き店舗を活用していた NPO 法人「子育て情報センター」が、子育ても含めて一元的にまちなか活性化活動をしている中で生まれたものだ。</p> <p>特に子ども達を集めて元気にするには大変効果があり、その延長で、全国から例えば「彦にゃん」等のゆるキャラを招いて商店街をパレードする等、貪欲にその存在を活用している。</p> <p>(2)豊かな農産物や食器としての伊万里焼等、この地域の良さを見直す目的で、食のまちづくり宣言を平成 17 年 2 月に行ったが、国で提唱する「早寝早起き朝ごはん運動」も視野に入れながら、17 年 7 月には 10 年間の推進計画を、19 年 4 月には推進条例を、さらに 20 年 7 月には食育推進基本計画を制定し、民間が呼応する「畑の中のレストラン」を基軸に梅サイダー等の新商品も開発している。</p> <p>また、学校給食の食器は伊万里焼とし、食育では男性の料理教室や子どもの料理教室を開催し、結果として「心を育む楽しい家庭づくり」の推進につなげている。</p> <p>なお、伊万里牛の PR では、市役所内に「伊万里牛課」を設置する等、徹底した取り組みには驚く。</p> <p>(3)平成 12 年 12 月に開館した武雄市立図書館は、蘭学の歴史館も併設され蔵書は 18 万 8 千冊あると言う。</p> <p>しかし、入館者が漸減していることから、樋渡市長は平成 24 年 5 月 4 日に貸本の蔦屋(CCC)と契約し、より市民価値の高い施設として運営する事としたという。</p> <p>CCC の説明によれば、CCCの社長が考えるコンセプト「五年後のお客様のために・団塊の世代に的を絞って・大人を変える大人を相手にする・等」に市長が共鳴し、市民の生活を豊かにするため、行政では出来ない 1 日 12 時間営業で、雑誌や文具が買える、映画や音楽を楽しめる、IT ソリューションも可能なカフェダイニングのある公共施設にするとの事であった。</p> <p>なお、平成 25 年 4 月 1 日にリニューアルオープンした武雄市図書館は、昨年比 5 倍の入館者で賑わっているという。</p> <p>大崎市でも新図書館の建設を控えており、この考え方を是非学んで欲しいと考える。</p>

	<p>(4)卓越した農業技術の持ち主で、地域貢献が顕著な人を認定する制度である。高齢化が進む中で、佐賀市に合併した自治体の中には認定の年齢制限が無いものもあったことから、その制限も撤廃している。</p> <p>平成 22 年 12 月からは、認定農業者の認証業務は年間 3 回実施している。これまで、認定農業者は専業農家への摘要だけだったが、一定の基準を満たす兼業農家へも拡大緩和した。</p> <p>そこで、専業農家へは、そのステータスを与える意味で、23 年 4 月から制度導入を行ったようだ。特典としては、機械購入時への支援等だが、むしろ精神的なインセンティブを付加する事で、やる気を促す条例となっているようだ。</p>
<p>他会派との 合同実施</p>	<p>・有（会派名：社会民主党・会派に属さない議員）</p>

以上